



鶏は暑さに非常に弱く、暑熱ストレスによる産卵成績や鶏卵品質の低下が見られます。

また、最悪の場合は鶏が死亡することもあり、経済的損失が大きくなるため、暑熱ストレスを緩和させる必要があります。

対策の一つとして抗酸化資材の給与が有効とされており、今回は県内で排出され、高い抗酸化活性がある、みかんジュースかすに着目しました。

これまで、暑熱期の採卵鶏にみかんジュースかすを乾燥・粉碎して給与すると、鶏卵の品質が高くなることを明らかにしています。

そこで暑熱期の生産現場でも同様の結果が得られるかを

検証するため、県内の採卵鶏農場での実証試験を行いました。

その結果、みかんジュースかすを3%添加した配合飼料を給与することで、畜産研究

鶏にみかんジュースかす給与

暑熱期の現地試験で鶏卵品質高める効果

現地試験における卵質成績

調査項目/区分	産卵中期～後期 (374～408日齢)	
	対照区	みかん3%区
卵重(g)	59.8	59.9
日産卵量(g)	56.3	56.6
卵殻強度(kg)	3.7	3.9
卵黄色	13.3	13.4
ハウユニット	77.4	83.5

※ハウユニットとは卵重と濃厚卵白の高さから求める値で、高いほど鮮度が良いことを示す

週間、冷蔵保存したところ、鮮度低下を抑制できる可能性があることが分かりました。

なお、みかんジュースかすの排出は10～2月のため、暑熱期に利用する場合は乾燥して保管する必要があります。

(県農林技術開発センター)

畜産研究部門 小家畜・環境研究室 研究員 松永将伍

向がありました。表

さらに、みかんジュースかすを給与した場合の鶏卵を2